

利賀っ子だより



R3. 11. 29

○ 一人一台タブレットを使って

～ 外国語活動 ～

中学年の外国語活動でタブレットを使っている様子を見かけました。パフェカップに具材をトッピングしていくという場面の設定で子供たちが“What do you want?”と質問し、ALTの先生の“I want～.”という答えを聴き取り、その具材を見付けてパフェを完成させるという活動でした。

これまでは、パフェカップも具材も紙に印刷したのを使っていました。机の上がたくさん紙でごちゃごちゃする上、すぐにずれたり、動いたりして、学習内容以外に気がそれることも多かったのです。タブレットを使うことで、机の上がすっきりするだけでなく、画面上で具材の大きさや傾きも瞬時に思い通りにすることができます。その分、ALTの先生とのやり取りの時間を十分確保することができます。出来上がりは、見た目も美しいので、達成感があります。

一方、指導者もPC上での準備は必要ですが、一人分ずつ印刷したり、切ったりして準備しておく時間が不要となり、どのように指導するか研修する時間に充てることできることとなります。

子供も指導者にも利点があるタブレットの使い方を今後も研修していきたいと思えます。



What do you want?

～ 休み時間 ～



送られてきた写真

この日は、11月生まれの子供たちの誕生を祝って全校で集まっていました。小規模校ならではの利賀小の恒例の行事となっています。

この時に自分のタブレットを持ってきて記念写真を撮り、全校のみんなと先生に送ってくれた子供がいました。送られてきた写真のみんなの笑顔を見て、温かい気持ちになったと同時にこんな使い方もできるのかと柔軟な子供の発想に感心しました。

一人一台タブレットを使っているかどうかという段階から、効果的な活用になっているかどうかを見極めていく段階になってきているのだなと感じています。教員も子供たちの習得のスピードに負けないよう研修をしていきたいと思えます。（高田 公美）